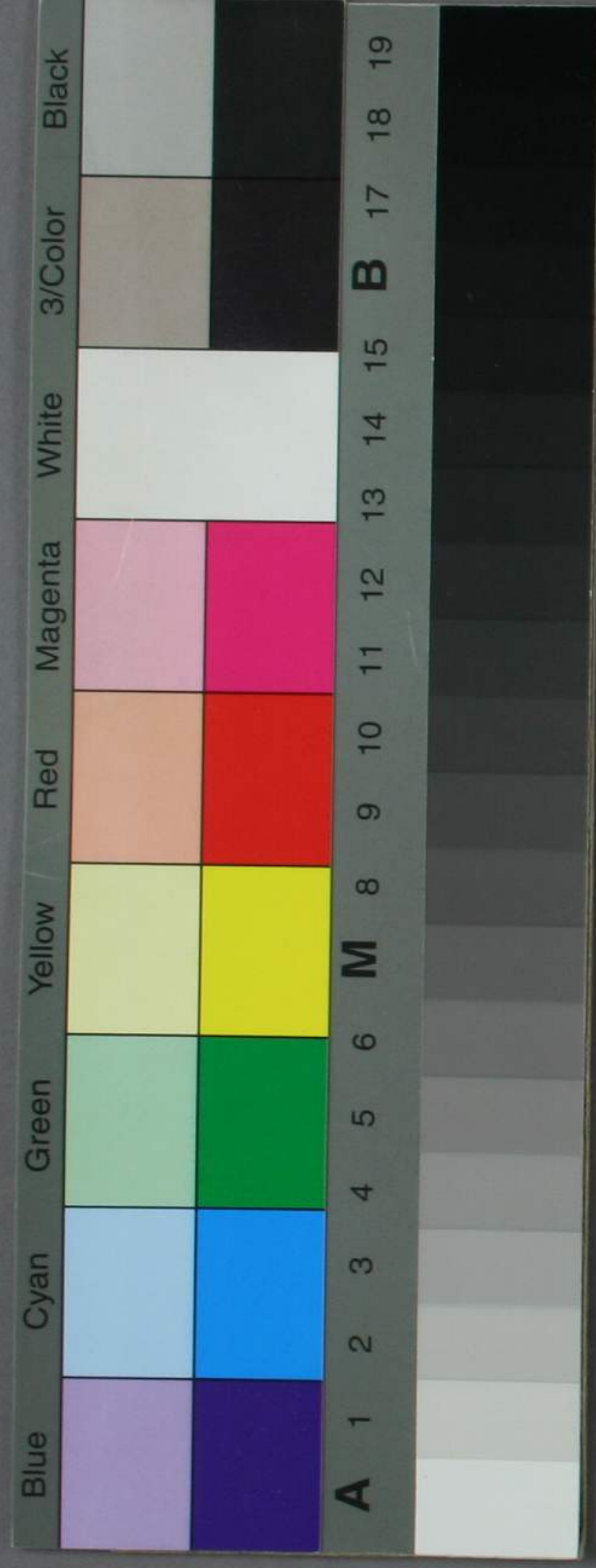




里見八犬傳 第三輯 卷三



3416
3

三編 女中 内 三

松中 勝長院

南總里見八犬傳第三輯卷之三

東都 曲亭主人編次

第廿五回

情を合く濱路憂苦と詠み
奸成告て額藏主家小還る

再説墓六へ水ぬ溺れしやうめく。飽やう信乃はぬ抱させ且しく眼を
用たぬを抗足を動しやうめく。扶起されし自脈を診り。
かくてふれに再び生さる。危うりと傍ある。柱に携りて立あられ信乃はその
本復の速あるを驚びく。俱に河辺の小屋をぬれば土太郎ハ左母二郎を
乗せし船をさるるえよせり。當下信乃ハ遠く。單衣を被て刀を腰ぬ
さる程は左母二郎ハ墓六がぬを携りし船は乗せその恙あると祝さるに
或ハ水中の動作を問或ハその苦惱を告て果々笑声高くたるとて真

しと岸を離るるめく。前愆は懲りて。再び細をちろとてかく。軀は
前面小著させ。獲の雜魚を魚番に移させ。たのふ餘れるを。條の
枝小貫えあぐ。これを蒼竹の真中。小括提信乃と左母二郎と。それ本
末を相携り。墓六の二人を先は。腰巾著を搔撈々。多少ハ
ち。土太郎は紙捻を。取ま。今宵の辛苦銭。ぬ。この土太郎ハ
河船の傭撰あ。生活は。一知不住の癖者。あ。豫々墓
六相譚れ。信乃を亡ん。つ。この二人ハ一町。あ。先ハ
拉。信乃ハ。折。何。密語めり。又先。二人を
遙。後方を見。移。待。墓六。走。ま。
連。家路。十七日の月ハ出。戦。青田ハ風。渡。
夜行ハ殊。涼。相譚。墓六。信乃ハ。あ。

今宵の怪我ハ生涯。復。不。覺。魚。條。ハ。あ。
い。漁。獵。を。秘。と。真。ハ。
口を鉗め。既。庚申塚の。後。一。祇。の。物。を。背。負。て。
前面より。引。提。挑。灯。ハ。紛。へ。く。あ。ぬ。背。ぬ。て。
と。墓六。あ。と。や。か。遅。かり。と。回。ハ。背。ぬ。
小腰を折。割。龍の。準備。故。又。時。を。移。と。い。は。せ。
吏。を。眼。を。瞪。し。噫。訖。や。白。物。們。が。出。と。炊。宴。ふ。云。と。い。ひ。さ。小。例。の
籠耳。脱。せ。今。め。て。あ。何。や。せん。と。陽。腹。さ。く。皆。共。侶。ハ
里。小。還。ま。亥。時。ハ。過。さ。る。左。母。二。郎。ハ。墓。六。を。そ。が。門。邊。まで。送。り
つ。夜の深。さ。れ。ば。と。裡。面。ハ。入。る。信。乃。も。叮。嚀。別。を。告。翌。の。啓。
行。を。祝。し。あ。が。宿。野。へ。か。り。去。ぬ。か。墓。六。ハ。奴。婢。一。面。人。呼。起。さ。せ。

あがり著る物もれ。器紙巻く息を吹れ引ちうーる。盃盤をとり納
め。共侶小。以房小入る。程もあ。軒の声ぞ高かりける。さる。宿小信乃臥
房小入る。を。時。成待。い。も。移。る。ま。だ。即。ち。う。け。く。久。後。を。あ。か。し。め。り。す。
い。を。誰。い。と。あ。ひ。と。父。母。の。墳。墓。小。今。ぞ。遠。離。る。里。の。名。残。の。い。と。惜。れ。こ。ろ。は
あ。か。し。真。砂。路。の。濱。路。ハ。臥。房。を。脱。出。く。竭。ぬ。恨。を。い。う。り。も。納。戸。の。軒。ハ。二
親。の。目。え。ぬ。程。も。と。公。の。も。せ。れ。く。逢。ぬ。か。ふ。さ。る。あ。は。憚。の。関。の。戸。乃。音
た。て。こ。せ。と。國。踏。む。膝。ハ。戦。て。定。め。あ。れ。浮。世。と。あ。ひ。形。る。悲。く。つ。く。
恨。し。郎。の。枕。又。近。づ。け。信。乃。ハ。あ。る。人。あり。と。さ。く。刀。を。引。よ。せ。岸。破。と。起
誰。や。と。同。ハ。音。も。せ。ど。原。来。癡。者。こ。さ。ん。あ。る。こ。ろ。が。寐。息。を。突。窺。め。く。刺。を
殺。さ。る。小。軟。と。疑。ハ。い。り。由。お。せ。ど。行。燈。の。火。光。さ。う。向。け。く。熟。視。ま。す。
濱。路。あり。端。あ。く。ハ。進。ま。く。蠅。の。後。方。小。伏。沈。と。声。ハ。ま。ひ。と。哽。咽。る。涙。小

外。を。あ。の。人。掲。茶。れ。苦。し。と。唧。め。り。強。敵。ハ。懼。れ。る。壯。客。あ。ら。う。も。驕。く。骨。を
結。め。く。蠅。を。出。釣。緒。を。解。け。臥。簾

